

石巻中学校コーナー

「東京・石中会」への感謝

石巻中学校 第27代校長 志小田 美弘



東京・石中会の皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年度に創設15周年を迎えられた東京・石中会の皆様には、物心両面にわたって様々な場面でご支援や励ましをいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。石巻中学校を母校として想って下さる皆様の心が、本校の伝統を支え、そして生徒を育む大きな力になっていると感じています。

昨年1月に、「私たちは石中の教師です（群鷗教師心得）」なるものを策定いたしました。「私たちは石巻中学校の歴史と伝統を自覚し、教育における崇高な価値を目指して連帯し、協働する教職員集団であることの誇りとその矜持をもって職務にあたりたい。」という前文で始まる6箇条からなる教師心得です。画餅にすることのないように、時々会議や打ち合わせの機会にこの心得を確認しながら仕事を進めようと話し合っています。

御承知のとおり教職員には人事異動がありますが、石巻中学校教職員としての誇りと矜持を大事にリレーしながら、「自主・自律・品位」の生徒心得をもつ生徒たちと力を合わせ、心を共鳴させながら「生徒たちが自分の良さを確かめに来るところである石巻中学校」の伝統づくりに今後とも取り組んでいきたいと考えております。

結びになりますが、東京・石中会の益々のご発展を祈念いたしますとともに、今後とも石巻中学校にご支援を賜りますようお願いを申し上げて挨拶とさせていただきます。

平成31年3月

着任のご挨拶

石巻中学校 校長 平塚 隆



桜花の候、東京・石中会の皆さまには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。この春の人事異動で、石巻市教育委員会から着任いたしました。どうぞ、よろしく願いいたします。

平成31年度の石巻中学校は、85名の新入生を迎えて、全校生徒285名、そして教職員26名でスタートしました。生徒たちの、気持ちのよい「おはようございます」の声、凜とした空気が漂う教室、活気あふれる部活動の姿等を見ましても、脈々と受け継がれてきた学校としての力、誇りを感じます。

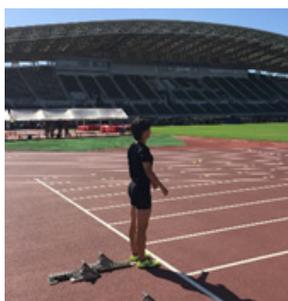
さて、私事ではありますが、本校には、平成11年から平成18年まで8年間いたことがあり、2度目の勤務となります。あれから10数年になりますが、校舎についても、多少の老朽化は進んでいるものの、清掃がきちんと行き届いているせいか、さほどの古さは感じられません。これもまた伝統という名の成せる業なのだろうと思っています。

いよいよ令和の時代が始まります。「あたりまえのことをすばらしい姿でやろう」「自走する生徒集団」等、これまで教職員と生徒が一緒になって創り上げ、積み上げてきたものを大事にしながら、今年度の教育活動を推進していこうと張り切っているところです。

結びになりますが、東京・石中会の皆様からいただいている絶大なるご支援に心からの感謝と、益々のご発展をご祈念申し上げ、着任の挨拶とさせていただきます。

平成31年4月

2018 石巻中学校トピックス



佐藤さん



左：橋本くん

2名の生徒が全国中学校総合体育大会に出場！

佐藤美里さん（3年）

100M 1次予選 12秒49 2次予選 12秒63

200M 1次予選 25秒69

橋本 航くん

予選2勝1敗で決勝トーナメントへ

決勝トーナメント2回戦 惜敗

2名とも、全国大会という大舞台で、日頃の練習の成果を十分に発揮しました。

川開き祭りへの参加

左・石中 SAITARA(7/31) 中央・吹奏楽部パレード(8/1) 右・早朝清掃(8/2)

猛暑の中開催された川開き祭りに、今年も吹奏楽部員と3年生の生徒が参加しました。暑さに負けず、見事な演奏・演舞を皆様に披露することができました。また、今年も石巻商業クラブのご協力をいただきながら、川開き早朝清掃を実施し、地域貢献活動にも取り組みました。



『激戦激闘～烈火・蒼天・雷鳴の如く～』のローガンのもと、9月2日（日）に大運動会が開催されました。

今年は、夏休み明けから天候に恵まれず、運動会に向けた練習が校庭でほとんどできずじまいで当日を迎えました。しかし生徒たちは、こうしたピンチを見事にチャンスに変え、行進、競技、応援パフォーマンスのそれぞれで「自主・自律・品位」の姿を会場の方々へ披露しました。おかげさまで、笑顔あり、涙ありの感動的な運動会となりました。

10月18日（木）・19日（金）、「一閃～平成最後に輝きを～」のローガンのもと、平成30年度石巻中学校群鷗祭が行われました。

約2週間という短い準備期間の中、生徒たちはより質の高いものを創り上げようと、それぞれの持ち場で大いに力を発揮しました。歴代の先輩が、石中群鷗祭の歴史を継承してきて、それがまた次の時代へと引き継がれていく、そんな節目の年にふさわしい、涙あり、感動ありの、そして達成感・満足感に満ちた群鷗祭でした。

